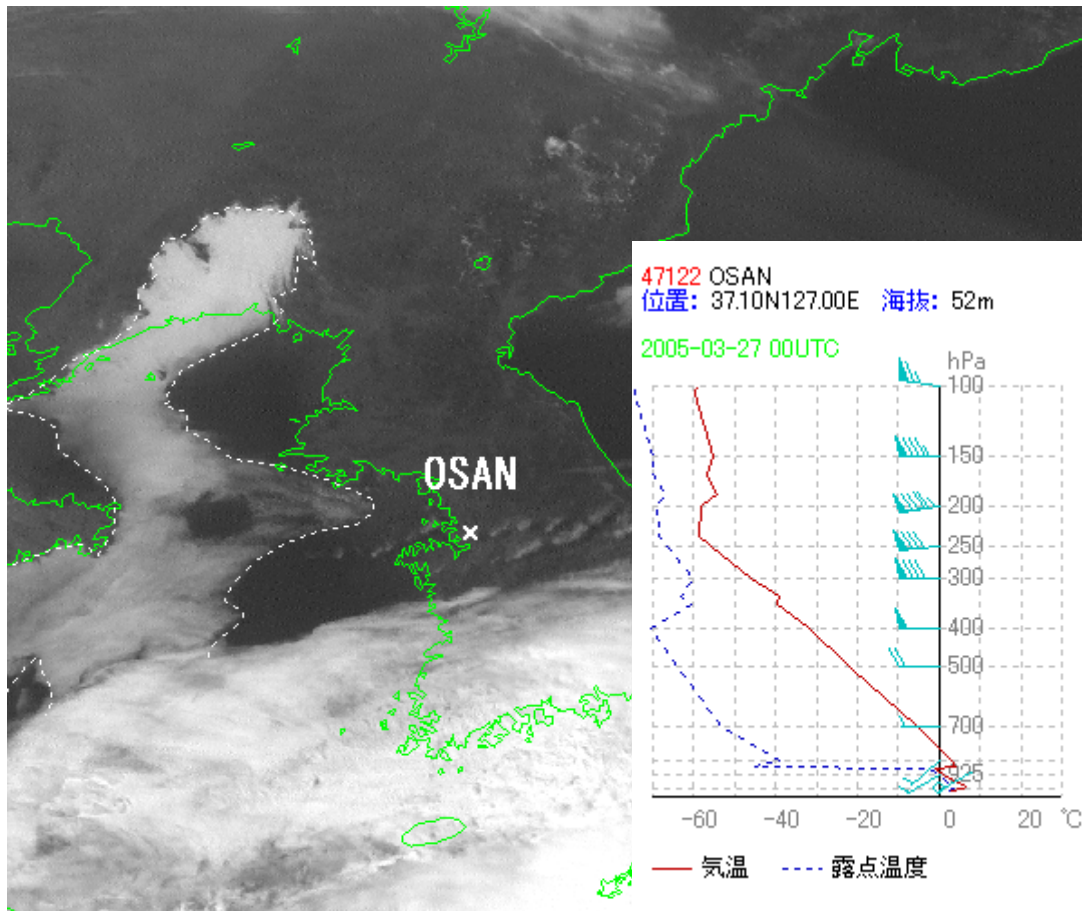


# 今月の気象衛星画像 (2005年3月)



2005年3月27日15時の可視画像及び09時の高層データ (OSAN)

## 黄海の霧

この日、黄海の山東半島から遼東半島沿岸の海上にかけて大規模な霧（白い破線で囲んだ領域）が発生した。写真は3月27日15時の可視画像である。霧域は可視画像では灰色～白色の雲頂表面が滑らかで一様な雲域と見える。赤外面像では暗灰色または暗い色調で、雲頂高度が低く周囲の地表（海表）面と温度差が小さいため、霧域を特定することは難しい。

27日09時の高層データ（朝鮮半島のOSAN）によると、朝鮮半島沿岸の下層（900hPa：約1000m）には逆転層があって、地表付近では湿度約80%と湿っていて霧の発生しやすい気象状態であった。この霧は26日の夜遅くから黄海や朝鮮半島の内陸で発生し、翌27日の明け方には広範囲に広がりを見せたが、この時刻には日射による昇温や逆転層の解消等により霧域の面積が縮小したものと考えられる。

このように広範囲に霧が発生すると海上や陸上の交通機関に大きな影響を与え、特に海上では船舶の遭難や海難事故の原因となるため、関係機関では十分な注意が必要である。

(気象衛星センター)